

適用規格						
定 格	使用温度範囲		-55℃ ～ 85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注2）	
	電 圧		AC 200 V	使用湿度範囲	相対湿度 85%以下 （但し結露の無いこと）	
	電 流		1 A	保存湿度範囲		
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○ ○	
	表示	目視にて確認する。			○ ○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）以下で測定する。		15 mΩ以下	○ —	
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。		1000MΩ以上	○ —	
	耐電圧	AC 650Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○ —	
機 械 的 性 能	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗：15mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —	
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸方向各 3 時間試験する。			○ —	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗：15 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —	
	温度サイクル	温度 -55 → +125℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 （槽の移し換え時間は2～3分）			○ —	
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。			○ —	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —	
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 （試験規格：JIS C 60068）		① コネクタ機能を損なうような腐食がないこと。 ② 接触抵抗：15 mΩ以下	○ —	
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する			○ —	
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合：はんだ温度 260±5℃ 浸せき時間 10±1秒間		外観の変形及び端子などに著しい ガタのないこと。	○ —	
		はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5秒以内			○ —	
	はんだ付け性	はんだ温度 245℃±3℃、浸せき時間 2秒間のはんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○ —	
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
						
備考				承認	HT. YAMAGUCHI	20181210
注1. 通電時の温度上昇を含みます。				検 図	HT. YAMAGUCHI	20181210
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。				担 当	TS. OONO	20181207
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				製 図	TS. HORI	20181207
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-386218-00-00		
	製 品 規 格 表		製品名	HIF3M*W-*PA-2. 54DS (63)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	 1/1		